

2020年1月6日

各位

JXTGホールディングス株式会社

## 2020年社長（杉森 務）年頭挨拶について

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

本日、JXTGホールディングス本社（東京都千代田区）にて行われました、当社社長 杉森 務のグループ社員に向けた「年頭挨拶（要旨）」を下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 長期ビジョンと第2次中期経営計画

長期ビジョンでは、当社グループのありたい姿として、「アジアを代表するエネルギー・素材企業」、「事業構造の変革による価値創造」、そして「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げている。

このありたい姿の実現に向けては、「基盤事業」のさらなる強化が不可欠となる。各事業分野の主要テーマを申し上げますと、石油精製販売においては構造改革の断行による収益力確保、石油・ガス開発においてはアジアの需要拡大を起点としたガス事業の強化および環境対応事業の強化、銅資源・製錬においてはカセロネスの生産性向上と技術開発の基盤となる精錬、リサイクル等の要素技術の確保・確立が挙げられる。

そのうえで、石油化学品における「石油の高付加価値化」、電材・機能材・潤滑油における「技術力の発展的強化」、そして、将来の「低炭素・循環型社会」に貢献する、環境負荷の低い発電事業や再生可能エネルギープロジェクトの推進といった「成長事業」への戦略投資を強化していく。究極のクリーンエネルギーとして世界の注目を浴び、今後の利活用が大いに期待される水素事業も重要となり、CO<sub>2</sub>フリー水素のサプライチェーン構築を推進するとともに、モビリティや産業での需要創出に力を入れていく。また、循環型社会のベースとなるリサイクル事業では、レアメタルや廃プラスチックのリサイクルに加え、カーボンリサイクルによっても環境負荷の低減に貢献していきたいと考えている。

これらに加え、地域社会の発展への貢献として、エネルギーとサービスを供給するプラットフォーマーになることを目指し、石油・電気・ガス・水素のワンストップ供給体制の構築や、SSネットワークをフル活用した生活プラットフォームの提供、カーシェアや自動運転配車といったモビリティサービス事業、さらには、街づくり事業の展開も視野に入れている。

事業環境の変化に対する前向きかつチャレンジングな取り組みにより、持続的な成長と中長期の企業価値向上を実現すべく、ESG経営を実践していきたい。

4月から始まる第2次中期経営計画は、長期ビジョンからのバックキャストで描く大事な中計として、これまでの延長線上ではなく、新しいことを大胆に計画して着実に実行していかなければならない。長期ビジョンの実現に向けて大きく変革するために、ベンチャー企業と連携して事業化を目指すアクセラレータープログラムや、社内ベンチャープログラムである Challenge X もさらに活用し、新規事業を創出していく。

## 2. グループ運営体制の変更・商号変更

先日発表したとおり、本年6月に、JXTGホールディングスとエネルギーを実質的に統合する運営体制に変更する。両社の役員を極力兼任させ、意思決定機関を統合するとともに、全ての管理部門を合同部とする。加えて、大幅な権限委譲を進め、スピード感をもって意思決定や業務執行ができる体制に改める。

一方、JX石油開発とJX金属については、当社グループの一翼を担う重要な事業会社として、ホールディングスが定める経営方針のもとで大幅な権限委譲を進め、それぞれの事業特性に応じて、より自律性、機動性、独立性を高めた業務執行体制を構築していく。これにより、グループ全体の機動力を強化する。

また、この体制変更と同時に、ホールディングスおよびエネルギーの商号を「ENEOS」に、グループの名称を「ENEOSグループ」に変更する。これからは「統合会社」ではなく、「新たな創業会社」として、知名度の高いENEOSの旗印のもとで、成長事業の育成や新規事業の創出を推進し、より大きなブランドに育てるとともに長期ビジョンの実現を目指していく。

## 3. 従業員へのメッセージ

最後に、長期ビジョンの実現に向け、原動力となる社員一人ひとりに心がけていただきたいことを3点申し上げます。

### (1) 「グループ理念」

我々の使命は、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献することである。社会の一員として高い倫理観を持ち、「安全・環境・健康」を最優先に行動するとともに、お客様本位を徹底する。長期ビジョンの実現、そしてこれからも社会に貢献し続ける会社であり続けるために、自らの行動がグループ理念に沿ったものであるかを常に意識してほしい。

### (2) 「対話」

我々が持つ多種多様な個性を変革への大きな力とするのが「対話」である。対話によって異なる個性や考え方がぶつかり合うことで、斬新なアイデアや独創的なプランが生まれると考えている。

また、強い組織に欠かせない「信頼」と「団結力」は、対話を重ねることでより強固なものとなる。

### (3) 「変革への挑戦」

4月からの第2次中計は「大きく変革」するときである。そのためには、過去の延長線上で考えるのではなく、大胆な発想をもって挑戦していかなければならない。失敗を恐れずに果敢に挑戦していただきたい。

2020年は、我々の新たな飛躍に向けたスタートの年になる。

一丸となって、新たな時代への道を切り開いていこう。

以上

## JXTGは、社名もENEOSへ!

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。